

第1回富山県循環器病対策推進協議会における主なご意見と計画への反映

| 番号 | 要旨 | 計画への記載、具体的な対応 |
|----|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 循環器病については、発症予防と重症化予防が重要。 | 第4章個別施策「1循環器病の予防や正しい知識の普及啓発④循環器病の発症予防・重症化予防」に記載。 「2-(1)循環器病を予防する健診の普及②高血圧・脂質異常・高血糖の状況」に重症化予防について記載。 |
| 2 | 循環器病と歯周病との関係について、治療だけでなく教育が必要。 | 第4章個別施策「1循環器病の予防や正しい知識の普及啓発④循環器病の発症予防・重症化予防」に歯周病予防の啓発について記載。 |
| 3 | 個別施策についてはデータヘルス、コラボヘルス等の新しい取り組みを入れてもよいのではないか。 | 第4章個別施策「2-(1)循環器病を予防する健診の普及②高血圧・脂質異常・高血糖の状況」の取り組むべき施策として、コラボヘルスおよびデータヘルスについて記載。 |
| 4 | 高血圧や高血糖、脂質異常の地域差にあった対策によりフレイルや生活習慣を予防していく必要がある。 | 第4章個別施策「2-(1)循環器病を予防する健診の普及②高血圧・脂質異常・高血糖の状況」に地域差と地域の課題に応じた対策の推進について記載。 |
| 5 | 医療体制に、大動脈疾患として、大動脈解離・大動脈瘤破裂に対する緊急医療を入れていただきたい。 | 第4章個別施策「2-(3)急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築」に大動脈解離・大動脈瘤破裂の急性期医療体制と広域連携について記載。 |
| 6 | 回復期リハビリテーション病床が少ない。 | 第4章個別施策「2-(3)急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築」に回復期リハビリテーション病床への転換や増加について記載。 |
| 7 | 大血管手術のものは、県全体で考えていくべき。 | 第4章個別施策「2-(3)急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築」に良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する体制構築が必要として記載。また、専門的な治療を開始することができる体制整備として記載。 |
| 8 | 心不全治療は大きく進化しているので、急性期からの対応が肝心である。 | 第4章個別施策「2-(3)急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築」に良質かつ適切な医療を効果的かつ効率的に提供する体制構築が必要として記載。また、専門的な治療を開始することができる体制整備として記載。 |
| 9 | 循環器に関わる医師数や医療圏の課題を踏まえたよりきめ細かい急性期から連携まで検討が必要。 | (P) 第4章個別施策「2-(3)急性期から回復期、維持期への医療提供体制の構築」に循環器内科医師数と2次医療圏内での急性期専門治療ができる救急医療体制について記載。 |

| 番号 | 要旨 | 計画への記載、具体的な対応 |
|----|------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | 心臓リハビリテーションについて、知識のある専門職を育成していく必要がある。 | 第4章個別施策「2-(4)リハビリテーションの体制整備」にリハビリテーション従事者の確保と、リハビリテーション従事者の資質向上について記載。 |
| 11 | 在宅医療の口腔の問題について、栄養士と歯科医師や歯科衛生士と連携が必要。 | 第4章個別施策「2-(4)リハビリテーションの体制整備」に危険因子の管理等を含む多職種チームによる多面的・包括的な疾病管理の重要性と、多職種連携の促進を記載。 |
| 12 | 脳卒中の後遺症をもった人たちが頑張っている姿をみて、頑張ろうと思うのでそういう機会を増やしてほしい。 | 第4章個別施策「2-(6)相談支援および情報提供」の取り組むべき施策に、地域包括支援センターや高次脳機能障害支援センター、障害者就労・生活支援センターの各相談支援や、地域生活支援拠点等の整備について記載。 |
| 13 | 脳卒中の後遺症について、どこに相談したらよいかわからない。 | 第4章個別施策「2-(6)相談支援および情報提供」に継続的な相談支援体制の構築を記載。「2-(7))循環器病の後遺症を有する者に対する支援」の取り組むべき施策に高次脳機能障害支援センターの普及啓発と連携の推進について記載。 |
| 14 | 循環器病の後遺症を有する者に対する支援として、うつ病等の心理的サポートを入れてほしい。 | 第4章個別施策「2-(7)循環器病の後遺症を有する者に対する支援」に記載。 |
| 15 | 切れ目ない循環器医療体制の充実。（小児循環器専門施設とかかりつけ医の連携、成人先天性心疾患に対応できる医師や医療機関、他の障害を併せ持つ患者に対応できる医療体制等） | 第4章個別施策「2-(9)小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策」に先天性疾患を含めた小児期の疾患について、成人後も切れ目なく診療できる医療体制が重要と記載。また、他領域の診療科との連携や移行医療を含めた総合的な医療体制の充実が必要と記載。 |
| 16 | 成人した先天性心疾患患者の再手術に対応できる医療機関や医師が少ない。地域の開業医ではみてもらえない。 | 第4章個別施策「2-(9)小児期、若年期から配慮が必要な循環器病への対策」の取り組むべき施策に移行医療支援の体制整備を記載 |